

第13回 AITテクノサロン

「ものづくりに役立つ計測・診断・制御技術」

主催：愛知工業大学総合技術研究所

共催：(公財)名古屋産業科学研究所

協賛：(株)大垣共立銀行、豊田信用金庫、(株)名古屋銀行

AITテクノサロンは、愛知工業大学教員の研究成果・シーズについてご紹介し、
地域の方々との交流の場を提供するものです。

今回は、ものづくり技術に関わるテーマで4名の教員が話題提供いたします。奮ってのご参加をお待ちいたします。

**参加費
無料**

日時

2019年**12月18日(水)** 午後3時～6時

場所

愛知工業大学 本山キャンパス 講義室(3階)

名古屋市千種区東山通1-38-1 地下鉄名城線・東山線「本山駅」下車、4番出口すぐ(駐車場はございません)

15:00～

「計測と制御～マイクロロボットを題材に～」

工学部 電気学科 教授 **鳥井 昭宏**

計測・制御は計測結果を改善に活かす技術のことです。IoT技術の進歩により、離れたところにある機械やロボットの動作を計測し、動作の改善や生産性の向上が可能です。本研究室で開発したマイクロロボットの計測と制御について紹介しつつ、IoT技術が果たしうる役割を考えます。



15:30～

「切削工具長寿命化～電界砥粒制御技術を用いた刃先研磨加工～」

工学部 機械学科 教授 **田中 浩**

切削工具は削るというものづくりの基本に欠かせません。近年、微細加工や研磨技術により工具刃先表面を精密に制御し、刃先摩耗や欠損を低減させる試みが活発です。今回、我々が研究している電界砥粒制御技術を用いた刃先研磨加工とその効果について紹介します。



16:00～

「システムのセンシングと故障予知」

情報科学部 情報科学科 教授 **中條 直也**

FAシステムや運転支援システムの保守管理は重要な課題です。センサデータに基づいてシステムの故障を予知して、保守を効率的に行う予知保全の技術が注目されています。FA機器やADASの故障予知を目指した研究などを紹介します。



16:30～

「システムモデルに基づく異常発生の予測とその回避」

情報科学部 情報科学科 教授 **小野木 克明**

ものの流れの制御が中心となる生産システムにおいては、予期せぬ原材料・装置の特性変化や突然の生産計画の変更が、システムの性能・安全性を著しく劣化させることもあります。講演では、これらの不確実性がもたらす異常を予測し回避する手法を紹介します。



17:10～

軽食と飲み物を取りながらの交流サロンを行います。ご自由にご参加ください。

●申込締切：**12月11日(水)**までに、氏名・所属を下記のFAXまたはメールでお知らせください。定員50名

●申込・問合せ先：愛知工業大学 総合技術研究所 社会連携室

電話：0565-48-8121(内線 1400) FAX：0565-48-4640

電子メール：so-ken@aitech.ac.jp

ご案内
申込み

